

評価指標及び目標値一覧

福知山市民運動場、福知山市民体育館及び北部地域多目的グラウンド

1 経営評価指標

(1) 収益性・成長性の視点 諸経費対売上高比率

項目の解説	・効率的な運営への取り組みを判断するため、毎年度の収入を評価する。
評価指標の算定	・令和7年度実績を基準とする。
目標値設定の考え方	・令和7年度実績を基準とし、前年度以上の収入を確保することを目標値とする。
目標値	・収入の対前年度比101%以上
事業計画書への記載箇所	

2 役割遂行指標

(1) 市民の視点 利用者数の拡大

項目の解説	・利用ニーズに即して適切なサービスが提供できているかを評価する。
評価指標及び目標値の設定の考え方	・令和7年度実績を基準とし、前年度以上の利用者を確保することを目標値とする。
目標値	・年間利用者数対前年度比101%以上
事業計画書への記載箇所	

(2) 財務の視点 コストの削減

項目の解説	・効率的な運営への取り組みを判断するため、管理運営に係る経費を評価する。
評価指標及び目標値の設定の考え方	・施設の管理運営に係る経費について、前年度の実績値を下回ることを目標値として設定する。
目標値	・管理運営に係る経費の対前年度比99%以下
事業計画書への記載箇所	

(3) 業務の視点

項目の解説	・利用者の安心安全を確保する取り組みに対して評価する。
評価指標及び目標値の設定の考え方	・緊急時や災害時に職員が適切な対応をするためマニュアルを整備し、実際の緊急時に運用できるよう普段から職員や利用者への周知徹底ができていないか判断していく。
指標及び目標値	・日中及び夜間想定訓練
事業計画書への記載箇所	

(4) 人材の視点 人材の育成

項目の解説	・利用者からの個別相談や支援に対応できる人材育成を実施しているか評価する。
評価指標及び目標値の設定の考え方	・利用者の多くは、生涯スポーツの振興や競技スポーツの技術向上を目的に利用されていることから、スタッフには専門知識を共有し常に新しい知識の習得をめざしているかを判断していく。
目標値	・業務研修実施回数年間2回以上
事業計画書への記載箇所	

(5) 地域の視点 地域からのクレーム件数

項目の解説	・地元住民と協調することで利用者の満足度の向上など円滑な施設運営が可能となることから、地元住民からのクレーム件数により、地域交流度を評価する。
評価指標及び目標値の設定の考え方	・利用者の施設内での駐車マナーや地域内の運転マナーなどに対するクレーム等の件数で判断する。 ・クレームの受付箱を設置するなど、気軽にクレームを投書できるようにしておく。
評価指標及び目標値	・クレーム件数年間5回以下
事業計画書への記載箇所	